



umango

処理の保存先手順書
結合されたテキスト

結合されたテキスト

結合テキストのエクスポート先では、テキスト ファイル データ（例: xml、csv、txt、json など）が作成され、ネットワーク フォルダーに配置されます。このコネクタを使用すると、処理されたドキュメントから取得した情報（「ゾーン」と「テキストの結合」）を使用して、ファイルの内容をカスタマイズできます。たとえば、Excel の概要、使用する JSON および XML データを作成するなどの目的があります。

「ゾーン」と「テキストの結合」の詳細については、「ゾーン」と「マージ フィールド」の説明書を参照してください。エクスポート先としてネットワーク フォルダを設定するには、以下の手順に従ってください。

1. 処理の設定で、「保存先」タブをクリックしてください。



The screenshot shows the 'Edit Processing - 見積書のホットフォルダ' interface. The 'Save Destination' tab is highlighted with a red box. The 'Save Destination' section contains a 'Export Target' dropdown set to 'ルーチン' (Routine), a 'Export Target' description, and a note about selecting targets to add. A 'Connect to add' button is at the bottom.

保存先のアクセスタブ

2. 「コネクタを追加」ボタンをクリックしてください。



The screenshot shows the same interface as above, but the 'Connect to add' button at the bottom of the 'Save Destination' section is highlighted with a red box.

「コネクタを追加」ボタン

3. 「結合されたテキスト」を検索し、「追加」ボタンをクリックしてください。



The screenshot shows the 'Connector Export' dialog box. It lists a connector named '統合されたテキスト(xml, csv等)' with details: 'Umango' organization, 'すべての産業' industry, '一般' category, and a detailed description of the 'Merge' option. The 'Add' button is highlighted with a red box.

「結合されたテキスト」の選択

4. ルートフォルダ ディレクトリを入力するか、[青いボタン] をクリックしてルート フォルダー ディレクトリを選択してください。

※サーバーが Active Directory の一部である場合は、ルート フォルダ一を認証されたユーザーのホーム ディレクトリに設定することもできます。



5. 必要に応じて、サブフォルダーのディレクトリを入力してください。サブフォルダの命名には「マージフィールド」と「ゾーン」を使用できます。



6. 「テキスト文書」タブをクリックしてください。



7. テキスト ファイルの種類 (ファイル拡張子) を入力または選択してください。



ファイルの種類の選択

8. ファイル名を入力してください。ドキュメント名には「マージフィールド」と「ゾーン」を使用できます。



ファイル名の設定

9. ファイル内容の構成を選択してください。



ファイルの内容設定

10. ファイルの種類に基づいてファイル内容テンプレートを自動的に作成するには、[移入] ボタンをクリックしてください。



ファイル名
見積書の概要 .CSV

ファイル詳細

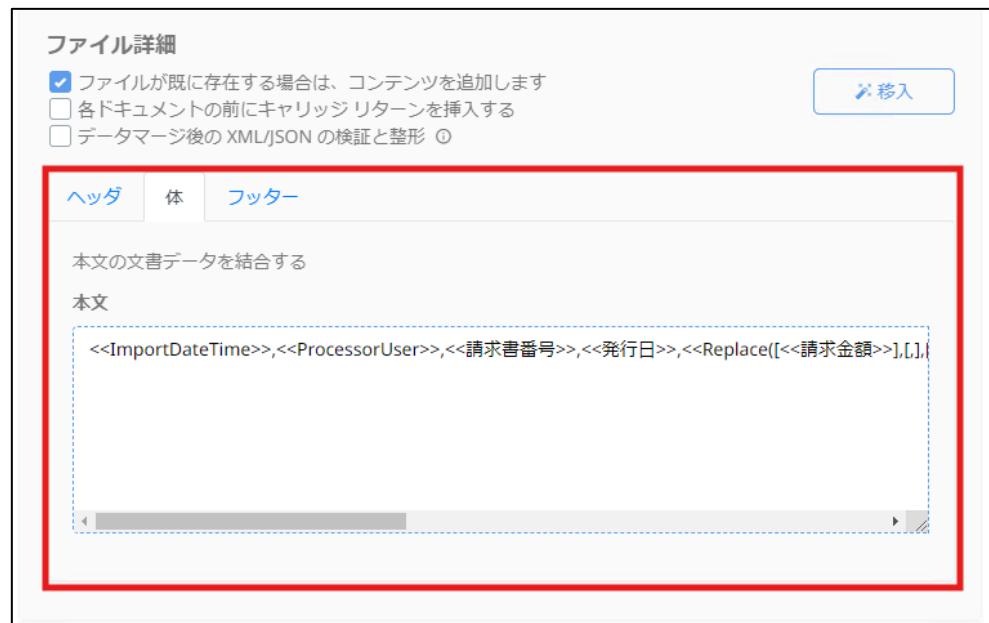
ファイルが既に存在する場合は、コンテンツを追加します
 各ドキュメントの前にキャリッジ リターンを挿入する
 データマージ後の XML/JSON の検証と整形 ①

ヘッダ 体 フッター

オプションのヘッダー テキスト。新しいファイルの先頭に追加
ヘッダーテキスト
"スキャン時間","ユーザー","請求書番号","発行日","請求金額","ファイルの場所"

ファイルの内容テンプレートの自動的に作成

11. 必要に応じてファイルの内容（ヘッダー、本文、フッター）を変更してください。ファイルの内容には「マージフィールド」と「ゾーン」を使用できます。



ファイル詳細

ファイルが既に存在する場合は、コンテンツを追加します
 各ドキュメントの前にキャリッジ リターンを挿入する
 データマージ後の XML/JSON の検証と整形 ①

ヘッダ 体 フッター

本文の文書データを結合する
本文

```
<<ImportDateTime>>,<<ProcessorUser>>,<<請求書番号>>,<<発行日>>,<<Replace([<<請求金額>>],[],<<請求金額>>)>>
```

ファイル内容の変更

※テキストファイルのみが必要で、処理済みのドキュメントもエクスポートしない場合は、手順 16 に進んでください。

12. 処理済みのドキュメントもエクスポートする場合は、「画像ドキュメント(1)」をクリックし、「ドキュメントを別のファイルとして含める(2)」リストにチェックを入れて、「ファイル名(3)」を入力してください。



ドキュメントを別のファイルとして含める

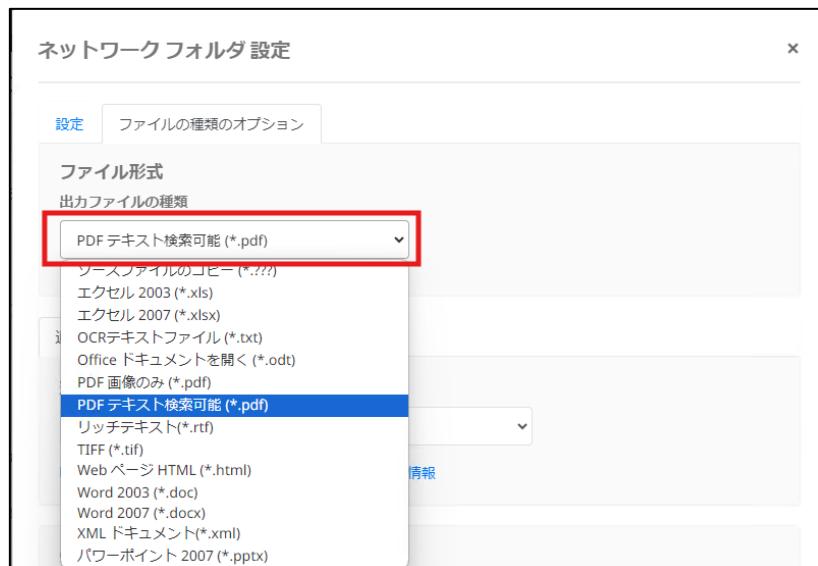
※テキストファイルのみが必要で、処理済みのドキュメントもエクスポートしない場合は、手順 16 に進んでください。

13. 「ファイルの種類のオプション」タブをクリックしてください。



「ファイルの種類のオプション」タブ

14. ドキュメントをエクスポートするファイルの種類を選択してください。



ファイルの種類の選択

15. ファイルの種類に応じて詳細設定を行ってください。ファイルの種類の詳細設定の詳細については、「ファイルの種類のオプション」の説明書を参照してください。



ファイルの種類の詳細設定

16. 「保存」ボタンをクリックしてください。



「保存」ボタン